



● 地域提案型

平成23年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	フィジー
2. 事業名	救急活動研修 Emergency Medical Activity Training Course
3. 事業の背景と必要性	フィジー諸島共和国は2つの大きな島と約330の小島からなり、面積18,333平方キロメートル、人口837,271人の国である。消防機関は、国家運営組織であり、消防本部を含め9つの消防署があり、職員は282名で構成されている。 フィジー国家消防庁は、消防活動・救助活動により、災害の軽減に努めている。 また、2010年からは救急業務が民間から移管され、救急隊員36名を配置し、救急業務を実施するために応急手当や搬送法等の習得に力を注いでいる。 松阪地区広域消防組合は、2010・2011年度において、各2名の業務従事者を派遣し、救急技術の指導を行った。これまでの救急活動研修で習得した技術を基に、自らで訓練を計画・実施・評価・検討していく継続的な訓練体制づくりと技術指導者育成が必要とされる。
4. プロジェクト目標	救急技術訓練を継続的に実施していくために、救急活動研修に参加した職員から救急技術指導者を育成する。
5. 対象地域	ズヴァ、ナンディ
6. 受益者層（人数規模）	フィジー国家消防庁の本部及び地方分署の救急隊員47名
7. 活動及び期待されるアウトプット	<アウトプット> 救急活動における基本を身に付け、救急技術指導者を育成することにより、継続的に技術の伝承、救急技術の向上を図ることができるようになる。 <活動> 業務従事者を派遣し、救急訓練の計画・指導・評価の助言補助を行う。 訓練計画書および実施した訓練内容を基に、訓練報告書を作成させるための指導・助言・補助を行う。
8. 実施期間	2012年11月から2013年3月
9. 事業費概算額	4,142千円
10. 事業の実施体制	松阪地区広域消防組合が業務従事者2名を派遣し、フィジー人研修員を対象とした救急活動・技術指導分野に関する現地訓練を支援する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	松阪地区広域消防組合
2. 対象国との関係、協力実績	2003年度から2010年度までの研修員受入、業務従事者派遣において、消防技術に関する幅広い知識と活動の迅速性・確実性・安全性を技術指導した。帰国研修員は、技術普及活動を実施し、消防官のレベルアップに努めている。